

みさき

48号

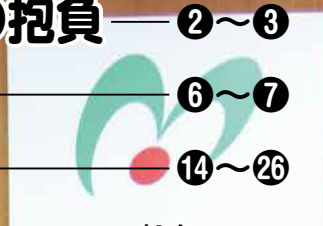
美咲町議会だより

主な内容

新議会始動!! 14人のまちづくりへの抱負 — ②~③

こんなことが決まりました

14議員が町政を問う



松島啓

延原

山本

金谷

貝阿彌

左居

岩野

江原

形井

松田



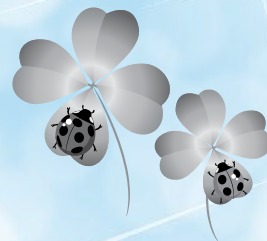
松島幸

山田

藤井

林田

づくりへの抱負



12 番
山本宏治議員

若者の子育て、教育の環境づくり、地域「通いの場」利用促進など少子高齢化対策が急務です。

また、安心安全な地域と元気な美咲町づくりに津山圏域との連携も必要です。

議員としても提案型で発言し品格ある議会活動を目指します。



13 番
松島 啓副議長

美咲町誕生から12年。多くの課題解決のために、『安全安心で元気な地域づくり』『人口激減対策』『教育のまち美咲町の実現』『若者の想いを施策に反映するしくみづくり』『真の議会改革』を掲げ、町の創生に全速力で取り組みます。



14 番
貝阿彌幸善議長

地方創生による観光スポットの充実を図り、地域の売り込みで活力あるまちづくり地域づくりによる、人の集まる町、住んでみたい魅力あるまちづくりなど、経済効果を高め潤いある美咲町へと、脱皮できる政策実現を図ります。



初議会の様子



9 番
金谷高子議員

目指します！

笑顔輝く安心のまちづくり、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり。

地域包括ケアシステムの構築と認知症対策に取り組みます。

美咲町の未来に責任ある政治に頑張っ^てまいります。



10 番
江原耕司議員

現在は世代の変わり様が思わぬ方向に変化。先を見通す思考で人口減少対策、地域活性化は美咲町原田の発展が一番。その周辺の改革など必要なものは実施する。

若者からお年寄りまで生活しやすい町を皆さまとともに実行。



4 番
形井 圓議員

恩は石に刻め…母の教えです。

町民の先輩方から受けたご恩を忘れることなく、皆さまのご意見ご要望を素直にお聞きし、皆さま方が安心して生活できるまちづくり、心温かいそして情・愛の溢れる^{あふ}まちづくりを目指します。



5 番
延原正憲議員

「安全に安心して、こころ豊かに生活できる元気な美咲町」を創るためには、今何が課題なのかを常に念頭に議員活動を続けてまいります。

「みんなで考え、みんなで行動する」まちづくりに努力します。



6 番
左居喜次議員

いま議会に求められているのは、議会の活性化であり、議員の政策提案能力の強化だと考えます。

議員自身の手によって、住民要求に応える条例案の提出や課題への取り組みを行い、美咲町の振興発展に力を注ぎます。

新議会 始動!!

14人のまち

任期満了に伴う町議会議員選挙が
4月16日に行われ14人の新議員が決まりました。

また、4月24日に初議会が開催され
議長、副議長、各委員が選ばれました。

※番号は議席番号です。



11 番

岩野正則議員

2期目に約束した議員定数削減を実現しました。「議員活動の見える化」など、さらに議会改革に取り組みます。また、過疎高齢化が進み地域格差が出ています。

皆さまが安心して生活できるよう努力します。



7 番

林田 実議員

今度で3期目の経験をいただくことになりました。

皆さまからいただいた経験を活かし、今まで以上に地域の声を町政に届け、反映していくことが議員の使命だと考えます。

さらなるご指導をお願い致します。



8 番

松田英二議員

新しい美咲町議会がスタートしました。

これからの4年間は、美咲町の一体感をより充実させ、大きく飛躍していく大切な期間となります。国・県の政策を町の政策と連動させて町民皆様の幸せづくりに全力を尽くします。



4月24日開催



1 番

山田雄二議員

新人の山田です。よろしくお願いします。

町内を回ってみて、自分たちの願いをもっと議会に届けてほしいという声をたくさん耳にしました。

住民の皆さんにとって議会が身近で信頼される存在となりますよう頑張ります。



2 番

藤井智江議員

1票1票の重みを噛みしめながら「住民こそ政治の主人公」「誰もが住んでよかった」と実感できる美咲町を築くため全力を尽くします。

町民の声を、町政に届け、町民の信頼に応えられる議会に力を尽くします。



3 番

松島幸一議員

若い世代から元気と活力を生み出せるまちづくり、将来世代に責任を持つまちづくりに真摯に取り組んで参ります。

次世代が生まれて良かったと思えるまちづくりに向けて、努力し、勉強し、町民皆様のために頑張ってお参ります。

● 29年度当初予算

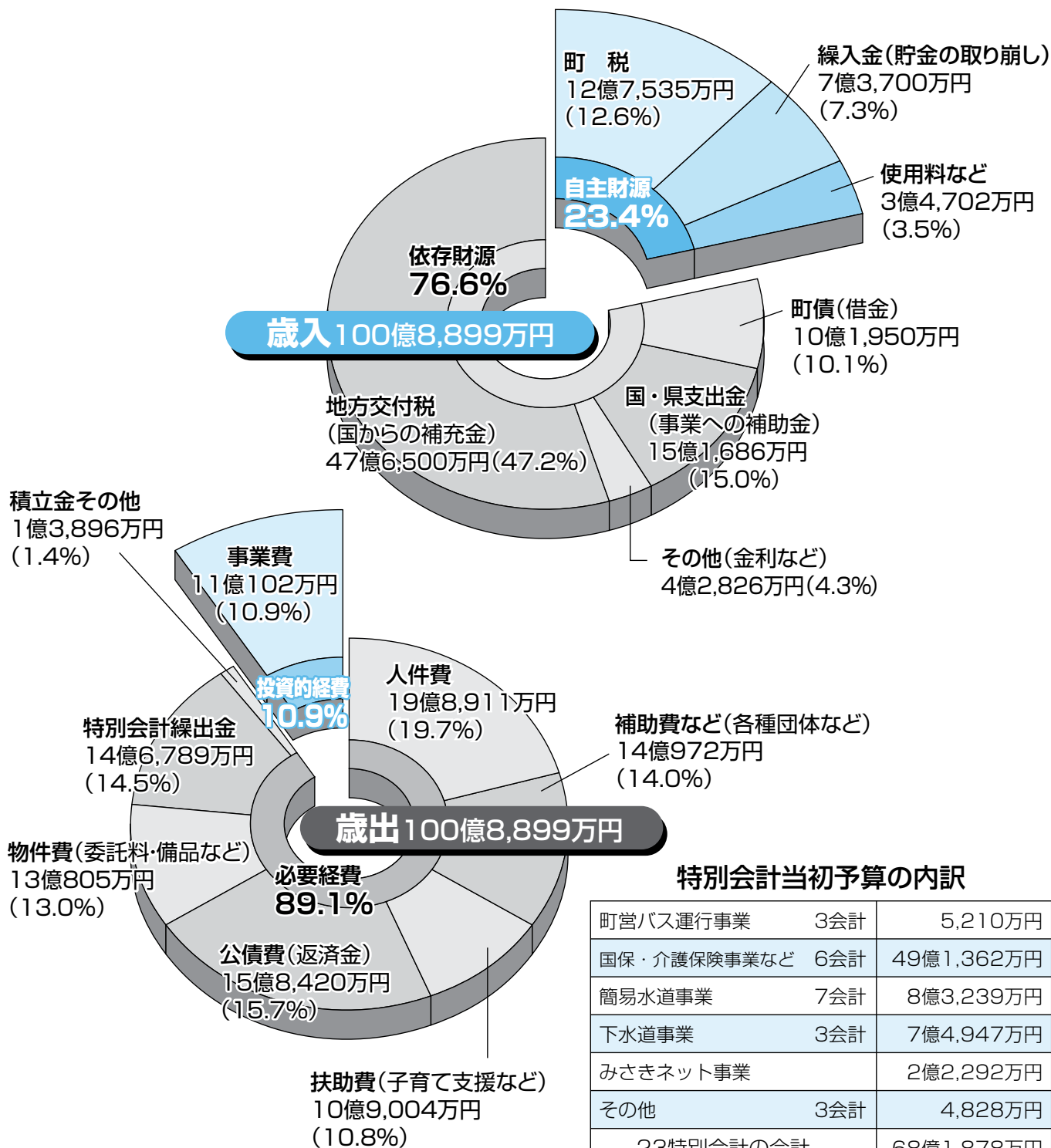
魅力ある地域の形成を

一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比 5.1%減
前年度比 11.0%減

一般会計
23特別会計

100億8,899万円
68億1,878万円



平成29年度当初予算は賛成多数で可決

〔予算特別委員会委員長報告〕

29年度一般会計当初予算は、100億8,899万円で対前年度比5億4,665万円（前年対比5.1%減）減少した。

主な事業は、柵原クリーンセンター施設解体撤去およびストックヤード建設事業に2億2,274万円、旭文化会館の空調設備改修に5,155万円などである。

歳入は自主財源と地方交付税などであり、財源不足の10億1,955万円は町債で埋める。

一般会計から23特別会計への繰り入れについては、今後も事業運営の健全経営に向けて引き続き厳しい努力を申し入れた。繰り入れの大きなものは、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・簡易水道事業・下水道事業。

ストックヤードの検討については、焼却場の取り壊し工事費の内容などを十分チェックし有効利用についても慎重に判断するよう意見を付す。

美咲町の健全な予算運営がなされるよう意見を付して一般会計、23特別会計を賛成多数で承認した。

〔本会議委員長報告に対する質疑〕

質問



形井議員

国の高齢者向け給付金の支給割合が93.4%である。100%の支給に向け、どのような努力をしたと担当課から報告があったのか。

回答



松島民生教育常任委員長

委員会の中での経過報告しかできないが、文書または電話での努力はしている。最後には個々へ訪問すべきと強い意見も出たが、訪問はできないとの答弁であった。

質問



三船議員

柵原クリーンセンター旧焼却施設の解体撤去費に1億7,000万円は高い。問題であるダイオキシンやアスベストの検査数値も出ていない状況である。ストックヤードも建設する前提で、議論をしないまま終わっている。本当に必要なのか。

回答



岩野予算特別委員長

解体撤去とストックヤードはセットの補助事業であるため前向きに検討すべきと考える。工事費を再チェック、検討し実施に向けて慎重に審議を重ねていくとの答弁であった。

◆ 意見の分かれた議案 ◆

○は賛成 ×は反対		岡田議員	山本議員	下山議員	松島議員	三船議員	江原議員	金谷議員	岩野議員	松田議員	形井議員	延原議員	片山議員	左居議員	小林議員	林田議員
議案第40号	平成29年度美咲町一般会計当初予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

の主な新規事業

一般会計補正予算など75件の議案が議決されました。

町営火葬場の大規模修繕

町営火葬場の火葬炉が老朽化したため、設備も含めた大規模な修繕を行う。
〔環境衛生費2,028万円〕



柵原グリーンセンター旧焼却施設を解体

柵原グリーンセンター旧焼却施設を解体し、跡地にストックヤードを建設。
〔塵芥処理費2億2,274万円〕



防災用携帯型IPトランシーバーを配備

消防車両に設置している移動系防災無線を携帯型IPトランシーバーに変更し、58台を消防車両などに配備。
〔防災対策費912万円〕



小型ポンプ搭載照明車両を配備

消防団の機動力を高めるため、日本初となる小型ポンプ付照明車両を本部分団に配備。
〔消防施設費2,945万円〕



補正予算

◎一般会計補正予算

歳入歳出から3億8,004万円を減額し、予算総額を111億2,710万円とする。

【主な歳入】

☆町税 6,951万円

☆国・県支出金

△8,218万円

☆繰入金

△2億7,390万円

☆町債

△1億390万円

【主な歳出】

★道路新設改良費

△1,938万円

★町民センター維持補修費

△3,456万円

★災害復旧費

△5,155万円

★公債費

△1,900万円

◎特別会計補正予算

【みさきネット事業】

★事業費

△5,558万円

【柵原北部簡易水道事業】

★簡易水道費

△1億700万円

3月議会

でこんなことが
決まりました

平成29年度予算

3月2日～17日まで定例議会が招集され

旭町民センターの空調設備を改修

完成後40年近く経過した旭町民センターの空調設備を改修。

〔公民館費3,666万円〕



旭文化会館の空調設備を改修

完成後20年以上が経過する旭文化会館の空調設備を改修。

〔図書館費5,155万円〕



旭地域に分譲宅地を造成

旭地域の西川地内に約3400㎡の用地を確保し、5区画に分譲宅地を造成。

〔用地取得造成費2,206万円〕



たまごかけごはん10周年記念

美咲町の代名詞となった「たまごかけごはん」10周年を記念して講演会やシンポジウムなどを実施。

〔観光費100万円〕



陳情

地球温暖化防止対策
美咲町協議会(仮称)
の設立の陳情

岡山県地球温暖化防
止活動推進員美作地
区協議会

代表 浦島 文男

自然環境保全の重要
性を認め全三致で趣旨
採択とした。

障害児者の生きる基盤
となる「暮らしの場」の
早急な整備を求める意
見書提出に関する陳情

障害者の生活と権利を
守る岡山県連絡協議会
会長 吉田 裕美

限界に近い家族介護
の状況を深く理解し全
会三致で趣旨採択とした。

要望

加美小学校スクール
バスの新規運行に関
する要望

美咲町加美地域自治会

会長 赤木 克己

町立加美小学校PTA

会長 川田 絢子

児童登下校の安全
対策を考慮し全三致
で採択とした。

委員会 の活動

総務常任委員会からの報告

総務常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／形井 圓 委員／延原正憲、江原耕司、三船勝之、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

【総務課】

津山圏域消防組合柵原出張所の整備

問 移転用地は決定したか。

答 28年度中に候補地を選定する計画で前向きに検討中であり、今少し時間を要する。

【まちづくり課】

公共施設等総合管理計画の策定

問 取り組み状況はどうか。

答 29年度から30年間の計画を28年度中に策定する予定であり、素案を公表してパブリックコメントも募集した。さらに内容の充実を図りたい。



藤原地内 柵原地区農産物加工施設

美咲町柵原農産物加工処理施設の現地を視察した

藤原地内に設置されている柵原地区農産物加工施設について地域住民の公益的活動を行う場として柵原本庁地区コミュニティ協議会加工部代表者に無償譲渡する施設を確認した。

【情報交通課】

みさきネット事業5,500万円減額補正

問 減額となった主な原因は何か。

答 中央地域のサブセンターの機器更新を見送ったため、今後の情報システムの動向などを見極めながら対応したい。

【まちづくり課】

宅地造成事業に西川地内約3,400㎡を追加

問 分譲宅地の規模と東側奥の三角地の利用は。完売できる価格に配慮を。

答 5区画の分譲を計画している。規模は1区画100坪程度で、三角地は今回は造成しない。購入してもらえる価格となるよう努力する。(P.7 参照)

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、健康福祉課、こども課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／松島 啓 副委員長／金谷高子 委員／林田 実、小林達夫、左居喜次の5人で審議しています。

【住民課】 柵原クリーンセンター

問 柵原クリーンセンターの旧焼却炉の取壊し調査結果は。

答 飛散防止工事、汚染物除去工事、アスベストの処理などが必要であった。

【健康福祉課】 国民健康保険運営の今後は

問 国民健康保険の運営が30年度から広域化されるが、今後のスケジュールは。

答 本年12月に運営方針が決定、公表され、30年2月に標準保険料率が公表される予定。

【こども課】 保育士の確保は

問 延長保育などの対応も含め、保育士の確保はできているのか。

答 募集に対して、応募が少なく、随時募集していく。



打穴下地内 美咲中央小学校増築現場

美咲中央小学校の施設改修事業、 教室2室の増築現場を視察した

工事期間が短く、現場も苦労されたようであるが、予定通り年度内に完成し、新学期からは使用可能とのことである。

また、他に緑化公園芝生広場便所新築工事現場（工事中）、諏訪古墳群便所建て替え修繕工事現地（昨年11月完成）を確認した。

【福祉事務所】 高齢者黄福給付金事業

問 美咲町高齢者黄福給付金の実施状況は。

答 65歳以上の住民税非課税の人が対象で、1人につき1万円支給するもので、3月1日時点の給付率は96.99%。

【教育総務課】 美咲中央小学校

問 美咲中央小学校の校舎増築工事の予算増額の理由は。

答 見込み額の追加で、屋外に水道設置を予定していたのを、屋内にするなどの変更に対応したものの。

【生涯学習課】 柵原文化センター

問 柵原文化センターの空調設備の完成はいつごろか。

答 現在工事中で、本年6月ごろの予定。冷房が必要な時期までには間に合わせる。

委員会 の活動

産業・建設常任委員会からの報告

産業・建設常任委員会は、上下水道課：産業建設観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／下山和由 副委員長／岩野正則 委員／片山 剛、松田英二、岡田 壽の5人で審議しています。

【産業建設観光課】 多面的機能交付金の減額

問 多面的機能支払交付金事業の予算が約1,000万円減額されているのはなぜか。

答 制度の見直しによって長寿命化の部分が当初要望額の6割に減額されたため。

【産業建設観光課】 柵原地区農産物加工施設の譲渡

問 柵原地区農産物加工施設を地元協議会へ無償譲渡するが、建物の固定資産税は課税されるのか。

答 地域が共同で使用する施設なので、地元協議会から申請を出してもらうことで固定資産税は減免される。

【産業建設観光課】 長原ダムの小水力発電を断念

問 長原ダムの水流を利用した小水力発電を断念したのはなぜか。

答 さまざまな調査を実施した結果、費用対効果の面で国の補助を受けられないことから計画を断念した。



打穴中地内 JAつやま 美咲ブドウセンター

完成したぶどう集出荷貯蔵施設を視察した

ピオーネを中心としたぶどうを、よりよい品質で確かな選果を行うための集出荷貯蔵施設JAつやま美咲ブドウセンターが完成した。

「施設概要」

敷地面積：4,198.81㎡

建築面積：819.12㎡

建築構造：鉄骨造 平屋建

処理能力：処理量500t

日処理量12t／日最大

【産業建設観光課】 工場立地のガイドライン

問 工場立地に伴うガイドラインの作成には緑地面積率の制限を明記しておく必要があるのではないか。

答 岡山県のガイドラインに準じた形を取っている。将来的には変更も可能である。

【上下水道課】 簡易水道事業費の減額

問 柵原北部簡易水道事業の予算が1億700万円減額されているのはなぜか。

答 統合簡易水道関係の施設整備を来年度に延期したことによる措置。

【上下水道課】 簡易水道・下水道の基金積立金

問 簡易水道、下水道各特別会計の基金積立金の総額は。

答 簡易水道で2億1,790万円、下水道で1億9,074万円。総額で4億864万円の基金を積み立てている。

予算特別委員会からの報告

予算特別委員会は、各課が所管する予算について審議を担当しています。
全議員16人（委員長／岩野正則 副委員長／江原耕司）で審議しています。

【総務課】 消防機具庫に下水道整備

問 消防機具庫2カ所に下水道を整備するが予算は。

答 消防施設管理費に下水道加入負担金66万円、消防機具庫維持補修費に420万円が含まれている。

【総務課】 防災用携帯IPトランシーバー

問 912万円の予算が計上されているが、何台分か。また、町全体をカバーできるのか。

答 58台を予定している。各消防団および防災関係に設置する。これで町全体がカバーできる。

【情報交通課】 通学定期乗車券補助金交付事業

問 民間路線バスの定期券1/2補助の周知方法は。

答 お知らせを中学校卒業の人へ高校の合格発表後、郵送するなど周知を図る。また、広報みさき4月号へ掲載する。

【まちづくり課】 地域おこし協力隊

問 現在2人だが住居などの状況は。また、活動内容は。

答 空き家バンクを利用して購入または借りて住む。活動は農業支援、特産品の開発および販路の開拓などを行う。

【まちづくり課】 結婚推進事業

問 71万円の予算が計上されているが、今後の目標は。

答 29年度、結婚支援センターの稼働を開始し、セミナーへの参加数100人、結婚相談窓口30件、成婚数10組などを3年間の目標としている。

【産業建設観光課】 鉄道遺産活用連携事業

問 新規事業であるが、概要は。

答 29年4月から9月3日までの土日に、津山駅の扇形操車場から吉ヶ原の駅までボンネットバスを走らせる。

【上下水道課】 水道管の老朽化

問 水道管老朽化による布設替えの年次計画は立てているのか。

答 計画は、まだ立てていない。全国的な課題でもあり、国の援助措置に期待する。

【教育総務課】 海外短期留学事業

問 参加者の負担金が10万円から15万円になる。生活困窮の家庭は参加しにくくなるのでは。

答 短期留学事業を長く継続したいため、新年度から決定した。

【健康福祉課】 介護保険事業の借入金

問 県からの借入金9,000万円は29年度で完済できるのか。

答 第5期計画までの借入金を29年度で完済できる。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山圏域

資源循環施設組合

(津山市、鏡野、勝央、奈義、美咲町)
2月23日、定例会を開催し、28年度組合会計補正予算2億5,397万円、29年度組合会計予算10億4,075万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)
2月16日、定例会を開催し、29年度組合会計予算21億6,613万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
2月22日、定例会を開催し、29年度組合会計予算24億1,512万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

計予算24億1,512万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山広域事務組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
2月22日、定例会を開催し、29年度一般会計予算3,284万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

津山地区

農業共済事務組合

(津山市、鏡野、久米南、美咲町)
2月22日、定例会を開催し、29年度組合会計予算4億1,357万円など7議案を審議、全会一致で可決した。

久米老人

ホーム組合(静香園)

(津山市、久米南、美咲町)



津山市川崎へ建設中の汚泥再生処理センター (津山圏域衛生処理組合)

2月15日、定例会を開催し、29年度一般会計予算1億6,407万円、29年度指定訪問介護事業特別会計予算2,010万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央、奈義、美咲町)

2月6日、定例会を開催し、29年度組合会計予算1億1,400万円の1議案を審議、全会一致で可決した。

岡山県中部環境

施設組合

(真庭市、美咲町)
3月28日、定例会を開催し、29年度一般会計予算2億7,448万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護

老人ホーム組合

(赤磐市、美咲町)
3月1日、定例会を開催し、29年度組合会計予算3億3,690万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原、吉井、英田

火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
3月1日、定例会を開催し、29年度組合会計予算1,448万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質 問 内 容
14	左居 喜次	1. 学校給食の地産地消に対する考えは 2. 借地解消に向けての対策を示せ
15	形井 圓	1. 加美小学校のトイレを洋式に 2. 美咲町高齢者黄福給付金の申請期限を再延長できないか ◇ 公共施設の下水道接続及びみさきネットへの加入状況は ◇ 町道管理の責任は何処になるのか ◇ 西幸公民館の改修を
16	片山 剛	1. ふるさと納税 本町の現状は 2. 舗装修繕工事の対応を早急に ◇ 健康診断の実施時期を変更できないか

ページ	議員名	質 問 内 容
17	下山 和由	1. 小・中一貫校開校に向けて将来のビジョンは 2. 借地料を10年区切りで見直すべきでは
18	岩野 正則	1. まちなか活性化の早急な取り組みを 2. 公共施設の管理徹底を ◇ 分譲地の販売
19	小林 達夫	1. 町はどう変わり何処が良くなったのか 2. 採用試験を公平公正に行っているのか
20	三船 勝之	1. 町の委託要件として収集運搬業の許可が必要か 2. 「地方創生」何で巻き返すか
21	松島 啓	1. 地域おこし協力隊の活動は 2. 災害の未然防止策にがけ地対策を

ページ	議員名	質 問 内 容
22	延原 正憲	1. 美咲町第二次振興計画の見直しは 2. 税外収入の確保状況は
23	林田 実 松田 英二	1. 介護保険事業のビジョンを示せ 1. 再生可能エネルギーの地産地消は実現するのか
24	山本 宏治	1. 収集運搬業務経費節減は可能ではないか 2. ラジオ体操の放送時間見直しは出来ないか
25	金谷 高子	1. 通りの場の課題は 2. 地方創生2年目の目玉は
26	岡田 壽	1. 福祉向上に必要な施策は何か 2. 移住者に何を希望するのか ◇ 農林業が基幹産業といわれるが産業振興の手立ては

議会だよりには、
2問まで掲載しています。
掲載できなかった質問は
◇で表示しています。



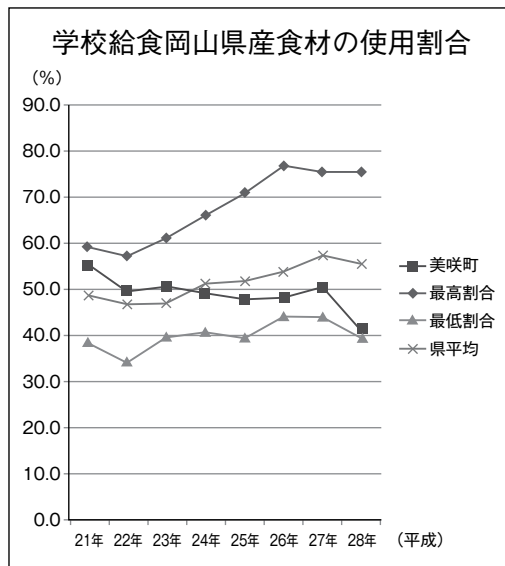
学校給食の 地産地消に対する考えは

町政を問う
一般質問

左居喜次 議員



地元でとれたおいしい食材を 食べてほしい



問 28年度に学校給食で使われた食材のうち、県産品を占める割合の県平均は55・5%であったが、本町においては、27年度調査から9・5%減の40・9%であり、県内27市町村中ワースト2位という結果であった。

答 石戸教育総務課長
①食材の購入については、各学校または各共同調理場で購入

①食材購入先の選定基準および選定方法は、
②平成27年度調査から9・5%減となった要因は、
③地産地消に対する町の考えは、

先を選定している。選定基準は、食材に応じた衛生管理に対応できる業者および商店に納入を依頼しており、できる限り町内の商店を活用している。

②県産品使用割合の落ち込みは、給食費を決められた単価に抑えることが大きい。本町は、近隣の中では単価の設定が低く、それだけ食材の調達に余裕がない。

③地産地消については、できる限り推進していき、本町の子どもたちに地元でとれた安全・安心な、おいしい食材を使用した給食を食べしてほしいと願っている。

質問

借地解消に向けての 対策を示せ

答弁

常に念頭に置きながら 進めている

問 美咲町が誕生して12年を経過しようとしているが、合併以前からの公共用地の借地が多く残ったままであり、毎年多額の借地料を支払っている。

答 美咲町が誕生して12年を経過しようとしているが、合併以前からの公共用地の借地が多く残ったままであり、毎年多額の借地料を支払っている。

①借地料の算出基準は、
②公共用地の借地についてどう考えるのか。
③借地解消に向けての対策を示せ。

答 山上下水道課長
①借地料の算出は、周囲の状況、買い上げ価格などを考慮して、地権者の人と協議の上決定している。

②借地についての考え方として、公共用地として恒久的な施設を

問 どの程度地権者の人と連絡を取り、交渉に当たっているのか。

答 畑尾まちづくり課長
一概には言えないが、解消に向けての取り組みは常に念頭に置きながら進めている。



公共用地の借地解消を！

町政を問う

一般質問

形井 圓 議員



加美小学校のトイレを洋式に

質問

補助事業などの活用も含めて
検討したい

答弁

問

加美小学校で「学校の和式トイレが嫌で学校に行きたくない」特に女の子たちからこんな声があがっており、保護者から洋式トイレに改修してほしいと聞いた。

また、昨年4月に学校から校舎の現状を見てほしいと依頼があり状況を確認した。

その状況を教育委員会に伝えると、教室の入口ドアは数カ月後に改修されたが、トイレは現在も改修されていない。

また、校庭と駐車場との間に水路があり、



改修が待たれるトイレ

答

石戸教育課長

危険なためグレーチングの設置を求めたところ一部設置されたが、なぜ全体に設置できないのか。

21カ所中4カ所が洋式で、1階にしか設置されていない。トイレ以外にも大規模な改修の必要性もあり、補助事業などの活用も含めて検討したい。

グレーチングの設置も他の修繕箇所と併せて小学校と相談し優先順位を考えながら対応していきたい。

質問

美咲町高齢者黄福給付金の
申請期限を再延長できないか

答弁

3月31日まで再度延長する

問

美咲町高齢者黄福給付金は、介護保険料が高額になり、一般会計から繰り入れができないため、65歳以上の人を対象に本町独自の施策として、1万円を支給する給付金であり、対象者全員に支給するのが行政の責務ではないか。

1月10日頃、支給状況を尋ねたところ、未申請者が470人であった。

申請期限を3月1日まで延長したが入院、施設への入所、高齢で理解できていない人がまだいるのではないか。

このような人に対し、期限の再延長はできないか。

答

福田福祉事務所長 所の人へもお知らせが3月1日現在で届くように配慮をした。未申請者が81人、支給割合が97%である。申請書の送付、行政放送や広報への掲載を行い、入院中や施設入るよう3月31日まで再度延長の変更を行う。



もう申請されましたか



ふるさと納税 本町の現状は

町政を問う

一般質問

片山 剛 議員



多彩な品目をそろえ 昨年度の5倍に



ふるさと納税で美咲の牛肉



① ふるさと納税額の28年度実績は、

また、前年との比較は、

② 返礼品の現状および納税金額に対しての返礼品の内容は、



木谷総務課長

① 2月末現在の

ふるさと納税の実績は、件数が978件、金額は1,518万円の状況になっている。

昨年の実績は68件、303万円で、比較すると

昨年度の5倍程度の寄付をいただいている。

② 本年度より返礼品

については従来の棚田米とピオーネから大幅に品目を増加している。

1万円以上、最高200万円の寄付に

対する返礼品を用意しており、特に1万円の返

礼品では町の特産品を中心に多彩な品目をそろえた。

金額的には送料を含め寄付の半額をお返ししている。

③ 高額な寄付で100万円や200

万円の返礼品は何か。



木谷総務課長

100万円では

「美咲の牛」半頭分、200万円では「美咲の

牛」1頭分を寄付の人と相談し何回かに分けて送付するケースもある。



舗装修繕工事の 対応を早急に



道路パトロールや 地域からの相談により対応



町道の傷みがだんだん酷くなり舗

装修繕工事の対応が必要となっている。

どのような方法が一番早く修繕を実施してもらえるのか。

自治会からの要望があればできるのか。



山本旭総合支所産業建設課長

町道のパトロールを行い、現状を把握しているが、地域からの相談も受け現地確認しながら判断し対応している。



國宗柵原総合支所産業建設課長

旭支所と同じで、舗



急げ！道路修繕

装修繕工事は傷みの酷い箇所は業者へ委託し、小さい穴などは職員で対応を行っている。

現地確認や要望書の提出により予算の範囲内で対応している。



矢木産業建設観光課長

両支所と同様だ。予算的な問題もあり、緊急を要する箇所

以外は優先順位をつける。順次対応はできている。

自治会長および常会長の提出により、現状の確認を行い、優先順位をつけて実施している。

町政を問う

一般質問

下山和由 議員



小・中一貫校開校に向けて 将来のビジョンは

質問

創立に向け新たな 検討委員会を立ち上げたい

答弁



小・中学校の未来は

問 柵原中学校の老朽化に伴いさまざまな議論がなされてきた。

また、少子化により児童・生徒数の減少が現実化している。

文部科学省の方針に従い柵原地域内の小・中学校の統廃合を視野に入れて検討委員会が協議が重ねられているが、これまでの経緯を示せ。

答 柵原教育長

柵原中学校、柵原共同調理場、柵原西小学校の老朽化に伴い修繕費が年々多額になっている。その現状を踏まえ、

柵原地域3つの学校や施設のあり方を検討する「柵原地域学校建設検討委員会」を設置し、先進校である鳥取県若桜学園への視察を含め合計6回開催して議論を重ねた。

問 将来のビジョンを示せ。

答 柵原教育長
今後の予定は検討委員会の取りまとめを公表する。

また、小・中一貫校を推進する義務教育学校の創立に向けて基本方針や実施計画の作成などに取り組むための新たな検討委員会を立ち上げていきたいと考えている。

質問

借地料を10年区切りで見直すべきでは

答弁

借地の解消を前提に交渉

問 柵原地域では、旧町時代から年間約900万円の借地料が支払われてきている。

学校用地を中心とした多額の借地料が合併当初の状態のままである。

10年区切りで見直すべきではないか。

今後の対策を示せ。

答 畑尾まちづくり課長

所有者とは当初の信頼関係に基づいて契約を結んでいるため、見直しは慎重に行っていく必要がある。

答 鈴鹿生涯学習課長

見直しも必要かと思われるが、借地の解消を前提にして交渉していかなければならないと考えている。

答 石戸教育総務課長

学校用地にかなりの借地料が支払われている。

今後の検討については、柵原地域の学校建設の状況により、借地の見直しの協議が必要となってくると思う。

答 定本町長

借地の購入は財政的にも今は難しい。

学校用地については、義務教育学校ができた時点で解消していくくしかないと思っている。



見直しが求められる借地料



まちなか活性化の 早急な取り組みを

町政を問う

一般質問

岩野正則 議員



答弁 本町の魅力を高めてPRに努める



どうする まちなか活性化



まちなか活性化
について、空き店
舗および空き家の活
用、史料編さんおよび
展示場所、まちなか図
書館などの早急な取
組みを。



答 畑尾まちづくり課長
空き店舗および
空き家の活用について
各地域の中心部に空き
家が増えている状況で
ある。

28年度は、空き店舗
の活用補助金が1件と
県のサテライトオフィ
スの誘致事業に取り組
んだ。
また、空き家等情報バ
ンクの内容も充実し、空
き家対策推進委員も一



答 生懸命頑張っている。
鈴鹿生涯学習課長
資料の所有は提
供者のものなのでほと
んどが返却すること
になる。提供のあった資
料の展示場所について
は町史発刊後に検討し
たい。



答 定本町長
空き家などの相
談はたくさんあるが、な
かなか決まらないのが現
状である。

本町の魅力を高めて
PRに努める。



公共施設の管理徹底を



公共施設等総合管理計画を 策定し個別計画を立てる



問 公共施設の管
理、統廃合につい
て、施設の老朽化など
に伴う修理の徹底と危
険施設および不利用施
設の整理推進を。



答 畑尾まちづくり課長
今年度末に、公
共施設等総合管理計画
を策定して、31年度ま
でに各施設の個別計画
を立てていく。

この計画は町民の皆
さんにも参加いただき
取り組みを進めていき
たい。



答 石戸教育総務課長
学校施設につい
ては、3つの中学校、
5つの小学校、2つの
共同調理場があるが、



総合管理計画の実行に期待



答 鈴鹿生涯学習課長
生涯学習課が管
理する公共施設には、
グラウンド、体育館、
公民館、図書館などが
考えられる。

状況を見きわめて利
用者に不便をかけない
ように対応していきたい
と考えている。
今後も点検などを行
って、安全で利用しや
すい施設として管理し
たい。

町政を問う

一般質問

小林達夫 議員



町はどう変わり 何処が良くなったのか

質問

除々ではあるが成果は実っている

答弁

問 対話の行政はできているのか。
この8年で何回行政懇談会を行い、何人の人が参加し、何人の意見を聞き、どう世界に羽ばたく美咲町にしてきたのか。

答 定本町長
地区の行事などの案内をいただき可能な限り出席している。広く住民の皆さんの意見を聞くため、集会にも要請があれば出席している。

問 ある市長は市政に生かすため、東京へ出張した際は政財界や官僚などに会って果は実っている。

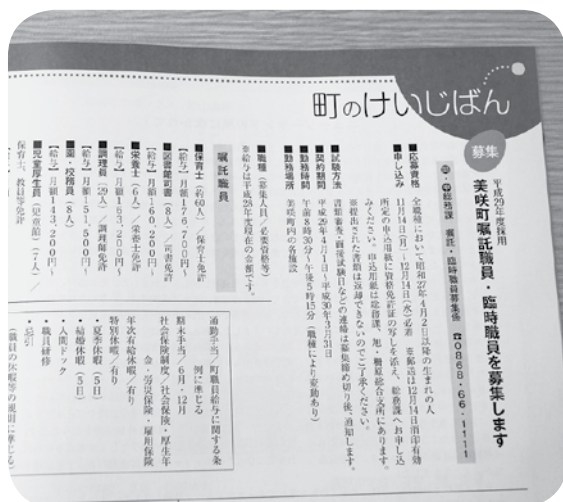
答 定本町長
町長は東京出張の際、どのような人と会い対話をして、町政にどのような生かしているのか。



対話の行政の継続を

問 合併後、旧3町に對して公平公正な町政ができていますか。

答 定本町長
① 基金も増え起債もかなり返すことができたため、旭地域のためにもお金を使えるようになったという意味である。



職員募集を広報誌でお知らせ

問 対話の行政はできているのか。
この8年で何回行政懇談会を行い、何人の人が参加し、何人の意見を聞き、どう世界に羽ばたく美咲町にしてきたのか。

答 定本町長
地区の行事などの案内をいただき可能な限り出席している。広く住民の皆さんの意見を聞くため、集会にも要請があれば出席している。

問 8年前、チェンジ美咲を掲げたが一体何を変え、どう変わり、町の何処が良くなったのか。

答 定本町長
本町に会社のある企業の社長に会い、関係企業誘致の話をしている。

問 面接試験のみでも可能と考えているのか。

答 岡部副町長
面接試験のみでは、面接試験のみでも可能と考えている。5条第2項に「臨時の職は1年を越えて再度更新はできない」とある。継続は違法であり新規と同じ扱いでないとおかしいのではないかと。木谷総務課長 継続の職員について

質問

採用試験を公平公正に行っているのか

答弁

面接試験のみでも可能と考えている



町の委託要件として 収集運搬業の許可が必要か

町政を問う
一般質問

三船勝之 議員



必ずしも許可を必要としない



皆さんのごみを運んでいます



町が行う家庭ごみの収集運搬業務

は、新年度から指名競争入札による委託業者決定の説明がなされていた。

その後、本年1月の議会全員協議会で、内規で

ある入札要領に不備があり、新年度も現在の委託業者と引き続き随意契約するとの説明がなされた。

①町長は本件の見解を求めた町民との面会をなぜ断ったのか。

②本件に関して申し立てた町民と、副町長、

住民課長が面会したのはいつごろか。

③入札要領（内規）の不備な点とは何か。

④町の業務委託の要件として、収集運搬業

の許可が必要か。

⑤議員の口利きと、特定業者からの要望があったのか。



岡部副町長

①断ったのではなく、町長の見解は私と同じなので、理解を求めた。

③物品役務の一般競争入札が初めてであり、参加資格者の該当要件を整備していく必要がある。



牧野住民課長

②最初に面会したのは28年11月2日以後4回面会した。

④収集運搬業の許可は必ずしも必要ない。

⑤指摘の事柄はなかったと承知している。



「地方創生」何で巻き返すか



美咲町に合った事業を進めていく



「地方創生」に関しては12月定例会でも質問をしたが、当時の石破^{いしは}地方創生担当相の話として、国からの交付金は努力した自治体とそうでない自治体との格差が大きいのは当たり前前と言われていた。

そこで、完全に取り残された感のある本町の「地方創生」について、町長の感想と本町はこれから何で巻き返しを考えていくのか。



定本町長

「地方創生」には確かに乗り遅れた。

地方創生では、「結婚



婚活で地方創生を

推進事業」と、「日本の田舎がいいね」という2つの事業が採択された。現在「日本の田舎がいいね」の調査研究をしており、研究費用で1,800万円の交付を受けた。それを基にして、地域で儲かる商社を立ち上げようと申請している。

「結婚推進事業」についても29年度に申請している。

また、津山市との定住自立圏の文化面で「地方創生」を一緒にやっているところとしている。

これからも本町に合った事業を進めていく。

町政を問う

一般質問

松島 啓 議員



地域おこし協力隊の活動は

質問

棚田の魅力を高め

稼げる地域の創生

答弁

問 協働のまちづくり事業の成果および課題と、今後の展開は。

また、集落支援員および地域おこし協力隊の今後の活動は。

答 煙尾まちづくり課長 成果として、各



みんなでやろう 地域おこし

地域で話し合いの場ができ、新たな事業の創出、伝統文化の継承、集落の環境整備などができている。

ワークショップ形式での地域活性化研修会の開催を、各地域の自主活動組織に続けていきたい。

課題は、担い手不足。今後は、岡山元気集落への登録をさらに進め、情報収集しながら活

答 矢木産業建設観光課長 集落支援員は、空き家対策に2人。地域の生活道路の維持管理に4人を予定している。

地域おこし協力隊は、県が行う地域課題解決支援プロジェクトの事業で、棚田の魅力を高めて稼げる地域づくりに取り組んでもらい、農業支援、特産品の開発および販路開拓などを行ってもらう。

また、棚田保存地区連絡協議会に参加して稲作なども学んでもらう。

現在、2人採用しているが、もう1人募集している。

質問

災害の未然防止策にかけ地対策を

答弁

十分な調査が必要

問 今までの一般質問で検討中の件について再度問う。

答 村島地域包括支援センター長

答 定本町長

①災害の未然防止策として、かけ地対策を町独自で考えてはどうか。

②いつでも、だれでも気軽に集えるサロンの常設はできないか。

③地域行政懇談会は、毎年行つべきではないか。

④『自治基本条例』および『若者条例』の制定で若者に活躍の場を。

答 矢木産業建設観光課長

①現在、町単独の災害復旧事業の制度化に向け検討している。

かけ地対策は、十分



若者に活躍の場を

な協議、調査が必要。

②通いの場の事業に地域の皆さんが取り組んでいくことが、介護予防の一番の力になるため、常設の場所ができるよう、今後も取り組んでいきたい。

③行政懇談会は、今後毎年行いたい。

④来年度が美咲町第二次振興計画の中間年度で、見直しの時期である。十分議論を重ね、その中で検討したい。



美咲町第二次振興計画の見直しは

町政を問う

一般質問

延原正憲 議員



基本計画はしっかりと見直す



見直しされる振興計画



25年度に制定した「美咲町第二次振興計画」は中間年度となる29年度に検証と見直しを行うと明示されているが、具体的に見直し作業を確認したい。

また、パブリックコメントの実施は行っているか。



畑尾まちづくり課長 具体的にはアンケート調査を実施するなど専門家の支援を得ながら職員で行うことで予算計上している。

タイムスケジュールについては、今は具体的に考えていないが、本町にとって大事なことで

1年をかけて丁寧に見直しを行いたい。

町民から意見をいただくパブリックコメントも実施して後期5年間の基本計画を策定したい。



この5年間で社会情勢も策定当時では想像もできないくらい大きく変化しており、基本計画だけでなく基本構想の見直しも必要ではないのか。



基本計画については、しっかりと見直したい。

また、「世界に羽ばたく『元気』な美咲町」の基本構想は引き続き持ち続けたい。



税外収入の確保状況は



可能なところから実施している



この4年間の一般質問の中で「検討したい」との回答のうち次の事項の実施状況を確認したい。

- ① 公共施設白書の策定状況
- ② 税外収入の確保
- ③ 有害鳥獣の処分施設の整備
- ④ おくやみ情報の周知方法



畑尾まちづくり課長 ①美咲町公共施設等総合管理計画を28年度中に策定予定である。



木谷総務課長 ②ふるさと納税

返礼品の多様化、インターネットへの掲載、クレジットカード決済を取り入れるなど改善を図



光嶋交通情報課長 ②公式ホームページでの有料広告、みさきタウンテレビでの有料コマ

ーシャル放送についてはこの4月から募集を開始する予定である。



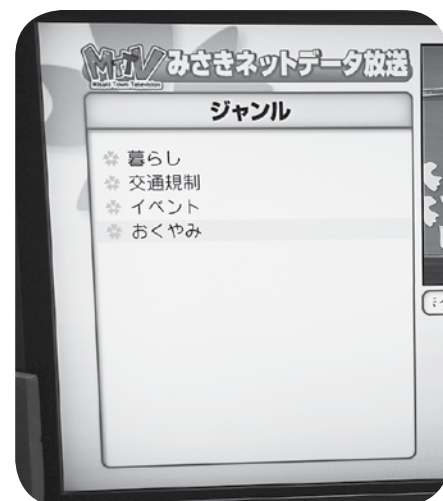
矢木産業建設観光課長 ③本年度から津山ク

リーンセンターに搬入して有害鳥獣駆除の許可証を提示すれば経費免除で焼却処分できることとなった。



牧野住民課長 ④死亡届受付の際、告知放送とテレビ

放送の説明をより丁寧に行いたい。



好評です データ放送

町政を問う

一般質問

林田 実 議員



介護保険事業の ビジョンを示せ

質問

健康づくりと住民サービスの 徹底に努めたい

答弁

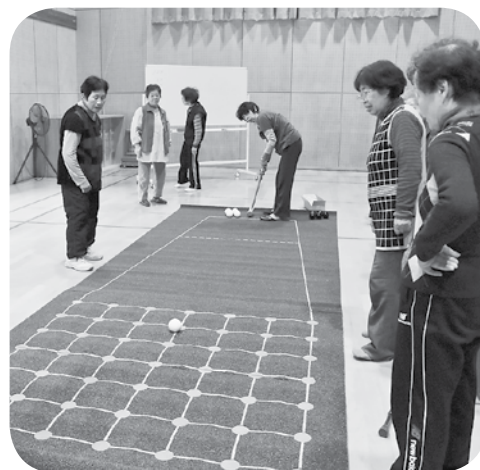
答 桑元健康福祉課長
介護保険および医療の制度改革も加味しながら29年度に第7

問 30年4月から始まる第7期介護保険事業の見通しはどうか。

答 第6期の最終年度では、健康づくりに取り組んでいきたい。地域包括支援センターを社会福祉協議会へ委託し人材の有効活用や、より連携を深め住民サービスの徹底に努めていきたい。

問 介護保険事業に対する中長期的な展望、構想などのビジョンを示せ。

答 定本町長
第6期の最終年度では、健康づくりに取り組んでいきたい。



一緒に楽しむ 健康づくり

期介護保険計画を立てていく。

問 町民にはさらなる健康づくりに努めてもらえば、保険料の値上げもないものと考えている。

答 介護保険制度の改正により要支援者が介護保険事業から外れることとなったが、今後どう対応するのか。

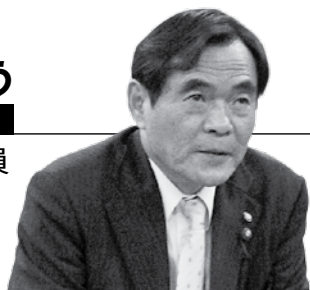
問 村島地域包括支援センター長
給付事業は継続できるので安心してほしい。基準を緩和したサービスも検討している。

答 地域協力で支え合うような地域づくりを進めていくことも重要であると考えている。

町政を問う

一般質問

松田英二 議員



再生可能エネルギーの 地産地消は実現するのか

質問

日本初の事業化に向けて 努力する

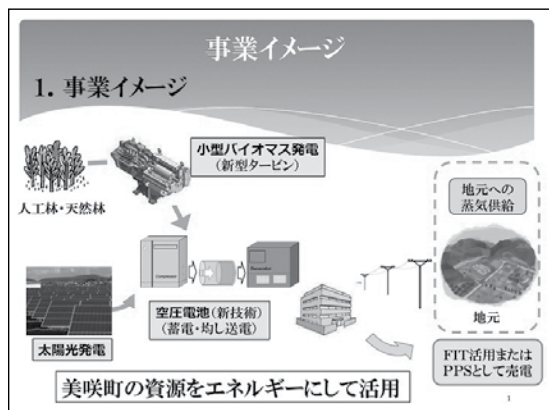
答弁

問 美咲町版地方創生総合戦略の中には太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーと蓄電機能を持つ空圧電池を活用したハイブリッド発電所の推進が明記されており、これまで協議会によつて実現に向けた協議が進められている。31年度の事業化に向けた進捗状況はどうか。

答 27年2月から美咲町再生可能エネルギー協議会を開催し、国や電力会社などとの間でさまざまな協議を積み重ねている。

問 本町の発展のためにも最重要課題として取り組むべきである。

答 美咲町創生総合戦略の第一番手として位置付けて取り組む。





収集運搬業務経費節減は可能ではないか

町政を問う
一般質問

山本宏治 議員



十分協議を行い 委託料軽減に努める



取り組み! ごみの経費節減



家庭ごみ収集運搬業務の委託契約の件では説明が二転三転していると聞く、しっかりとした対応が必要と考える。

①内規の不備で現在の業者と来年度も再度、随意契約を行うことになったが一般競争入札制度の導入により経費節減が出来るのではないのか。



②業者選定について随意契約では2社以上

の見積もりを取っていないがなぜか。
牧野住民課長
①地域住民への周知、事業者との業務を遂行するうえでの協



定本町長

②国からの通達判例などにも能力、経験、信頼関係のある業者を1社選定して随意契約を行うとあるので、他の業者から見積もりをとる必要はないとある。

議、入札参加資格審査要領の整備に一定の準備期間が必要のため検討を行った結果、30年度から実施する。
また、資力、信用、技術、経験などを有する事業者と業務遂行するに足りる額で随意契約を行ってきたが29年度も事業者と十分協議を行い委託料の軽減に取り組む。



ラジオ体操の放送時間 見直しは出来ないか



番組企画・編成会議で検討する



告知放送で毎日6時30分からのラジオ体操の放送がある。

夏場の早朝は昔よりラジオ体操が定番だと思いが、冬場は放送時間の見直しをしてはどうか。

本町の健康づくり行政の目玉であるので、昼に放送をしてはどうか。

また、住民の意識調査をしているのか。



定本町長

番組企画・編成会議で検討をしたい。

桑元健康福祉課長
健康づくりのこ



朝から元気でーす



とで町民に、朝のラジオ体操について意見を聞き、24人中8人が頑張っているとの回答があり、ラジオ体操の効果はあると思う。

町民の健康づくりに利用していただきたい。

健康寿命を推奨しているところからも、ぜひともそういった機会は数多く設けていけたらと思う。



光嶋情報交通課課長
放送時間の変更

は問題ない。

他の関係課と協議し町民の健康づくりに対応したい。

町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



通いの場の課題は

質問

送迎について

黄福タクシーを利用

答弁

問 村島包括支援センター長
① 社会福祉協議会と今後の活動、内容・育

答 29年4月から新総合事業が始まる。本町の積極的な取り組みと熱意を問う。
① 今後の生活支援サポーターの関わりは。
② 生活支援コーディネーターとして配置する人材は。
③ 「地域リハビリテーション」活動支援事業について町独自に専門職の配置を。
④ 「通いの場」を1年間取り組んだ成果と課題は。



サポーターさんありがとう

※生活支援コーディネーターは1～3層の活動圏域がある。

成など協議をしている。介護教室、新たなサポーターの養成などに取り組む予定。
② 1層は行政に配置し全体の企画を行う。
2層は社会福祉協議会が地域福祉活動と連動して進める。
3層は自分の地区でリーダーシップを持って活動する。
③ 町独自の専門職は理想的だが、来年度も県へ派遣要請している。
④ 各地区で熱心に取り組んでいただいている。課題は送迎の方法であり、黄福タクシーを利用したい。

質問

地方創生2年目の目玉は

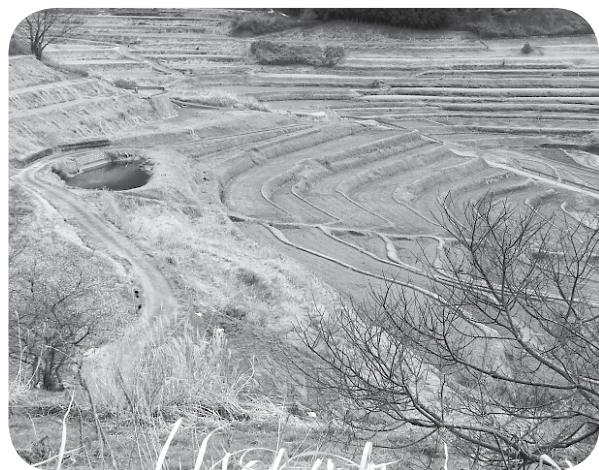
答弁

目標達成が重要

問 ① 「地方創生」が始まり2年目を迎えるが、町が作成した総合戦力について、目玉は何か。
② 29年度から地域活性化に取り組む地域おこし協力隊をさらに普及してはどうか。

答 畑尾まちづくり課長
本町として67重要業績評価指数の目標を立てている。
目玉という考えでなく31年度に向け目標を達成することが重要と思っている。
② 地域おこし協力隊は積極的に導入したい。
矢木産業建設観光課長
① 棚田の魅力を高めて稼げる地域づくりに

① 「地方創生」が始まり2年目を迎えるが、町が作成した総合戦力について、目玉は何か。
29年度は500万円の事業費を予定しており、県と一緒に事業を進めていく。
② 本町の観光スポット大坪和西の棚田は高齢化と担い手不足で草刈り作業などが困難で深刻な状態だ。
28年度の棚田体験イベントで田植えまたは稲刈り作業を行い耕作放棄地が少しよみがえった。
地域おこし協力隊の人に協議会に加わってもらい活動の応援ができる体制を作りたい。



生かそう 地域資源



福祉向上に必要な 施策は何か

町政を問う

一般質問

岡田 壽 議員



住み続け住んでよかった 町づくりが必要

小・中学校児童生徒数 (29年4月1日現在)

小学校	中央地域	旭地域	柵原地域	合 計
1年	64	10	32	106
2年	50	13	31	94
3年	53	11	28	92
4年	69	14	49	132
5年	54	17	49	120
6年	68	9	37	114
合 計	358	74	226	658
中学校	中央地域	旭地域	柵原地域	合 計
1年	69	18	43	130
2年	54	15	52	121
3年	55	14	54	123
合 計	178	47	149	374

問

選挙を控え、2期8年間の任期を通して、町民の福祉向上に必要な施策は何か。

合併算代替で財政運営が厳しくなると予想されるが、対策はどうするのか。

答

定本町長

第二次振興計画に掲げているように子育て支援、高齢者支援、空き家対策、定住助成などを積極的に実施し、住み続け、住んでよかった町づくりが必要と考えられる。

町外の人からも住んでみたいと思われるまちづくりをしたい。さらに子どものころから郷土愛を養うことに取り組み、巣立った若者が帰ってくる対策も進めたい。

財政面では、合併15年をめどに地方交付税も減少する。

町の標準財政規模は80億円弱。今までのように120億円規模の予算は難しくなる。

予算規模の縮小を視野に入れた財政運営も考えていく。

問

魅力ある地方づくりとは。

答

木谷総務課長

魅力あるまちづくりを予算の面で判断したい。



移住者に何を希望するのか



地域の声を聞いていきたい

問

各市町村とも空き家対策、移住者対策などに、さまざまな施策をとっている。他市町村に比べ、より有利な条件を考え移住促進をしている。町として移住者に何を希望するのか。

答

畑尾まちづくり課長

町として町民の福祉増進など、少しでもよい地域づくりを目指した仕事をしている。空き家情報バンク制度の中で移住定住により地域の活性化を図る

問

移住者関係書類に誓約書があり、地域との協調連携に務め、地域の取り組みを守ることになっている。

答

畑尾まちづくり課長

自治会長および協働のまちづくり代表者など地域の声を聞き、これからの移住対策事業につなげていきたい。



お待ちしております 田舎暮らし

議会の構成決まる

4月24日臨時議会が開催され、議長、副議長、各委員が選ばれました。

議長 貝阿彌幸善

副議長 松島 啓

◎委員長 ○副委員長

常任委員会	総務産業常任委員会	◎ 山延山松松岩松 ○ 延山松松岩松	本原田島田野島 宏正雄幸英正 治憲二一二則啓	監査委員	憲則司憲次治子 ◎ 岩野正耕正喜宏高 ○ 江原原正喜宏高
常任委員会	民生教育常任委員会	◎ 金谷高子 ○ 形井智江 藤井居田原 左林江 貝阿彌幸善	子圓江次実司善 高智喜耕幸 谷井居田原 金谷高子	議会運営委員会	特別委員会 議会広報編集
常任委員会	民生教育常任委員会	◎ 金谷高子 ○ 形井智江 藤井居田原 左林江 貝阿彌幸善	子圓江次実司善 高智喜耕幸 谷井居田原 金谷高子	議会運営委員会	特別委員会 議会広報編集

各組合議会議員

◇津山地区農業共済事務組合

延原 正憲 岩野 正則

◇久米老人ホーム組合

藤井 智江 形井 圓
左居 喜次 江原 耕司
岩野 正則 山本 宏治

◇柵原吉井特別養護老人ホーム組合

藤井 智江 松島 幸一
林田 実 金谷 高子

◇勝英衛生施設組合

山田 雄二 林田 実

◇津山圏域衛生処理組合

山本 宏治

◇岡山県北森林林業活性化議員連盟

山本 宏治

◇柵原、吉井、英田火葬場施設組合

山田 雄二 松島 幸一
松田 英二

◇津山圏域消防組合

左居 喜次 岩野 正則

◇津山広域事務組合

形井 圓 林田 実

◇岡山県中部環境施設組合

貝阿彌幸善 金谷 高子

◇津山圏域資源循環施設組合

貝阿彌幸善 松島 啓

◇岡山県広域水道企業団運営協議会委員

貝阿彌幸善

◇美咲町消防委員会

松島 幸一 江原 耕司
山本 宏治

議会のあり方を改革

議長あいさつ

美咲町議会議長

貝阿彌 幸 善



副議長あいさつ

美咲町議会副議長

松島 啓



改選後も引き続き議立案能力の向上に努め、会議長の重責をお引き受けし、改めて責任を向かって、議会も一丸となり町政発展に寄与して参ります。

町の広大さは変わらず議員数は2人減となりましたが、議会のあり方を改革し、皆さまの声を町政に反映できる体制の整備、また二元代表制の一翼^{いちよく}を担う議会議員として、政策

人口激減、少子高齢化に伴う諸問題に対し、議会の役割、あり方が問われています。議案などをチェックし決定する機関だけではなく、町の現状、将来を考え、政策を積極的に提案する議会へと変える必要があります。そのために各議員が、しっかりと調査研究、

自由闊達な議論をし、町民の皆さまと常に対話が出来るしくみづくりに取り組んでまいります。

『町民に開かれた議会』『責務を果たし信頼される議会』となるよう努力します。ご指導^{べんたう}ご鞭撻^{べんたう}の程、お願い申し上げます。

編集後記

山の木々にも新芽が出る季節となりました。任期満了に伴う議員選挙が4月16日に行なわれ前回より2人減の定数14人の議員が決まりました。

今回の議会議員選挙投票率は74・89%と本町合併以来、最低でした。この結果を真摯^{しんし}に受け止め、町民に関心を持っていただけるよう議会の活性化に努めて参ります。

48号を最後に広報委員も変わります。

研修会などに参加し伝わる・分かりやすい文章を心がけるため勉強を重ね議会だより作成を行って参りました。

これからも皆さまに親しまれる広報誌の作成を新メンバーに託し、バトンを渡します。

(編集委員会)

旧メンバー



私たちが引き継ぎます

議会広報編集特別委員会

委員長 左居 喜次

副委員長 藤井 智江

山田 雄二

松島 幸一

松田 英二

金谷 高子